

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 5

H29. 6. 23

発行責任者 校長 橋本一弥



楽しい集会活動

6月16日の全校音楽では、曲にあわせてジャンケン列車。楽しい活動で全校での音楽学習をしめくくりました。

6月16日の学芸集会では4年生の発表があり、学習した俳句や音楽の演奏を全校生の前で堂々と発表しました。

これからも関わりを深める集会活動を大切にして参ります。



高学年児童に図書の寄贈

～滝在住の宗像克恵さんより～

宗像さんの図書の寄贈は、今年度で9年目となります。児童が希望する図書を予め調べて注文し、それを一人一人に手渡しでお贈りいただきました。本校の卒業生は、2年に渡って宗像さんから本をいただいて心の栄養にし、中学に進んでいます。本当にありがたいことです。贈られた図書には、毎年、宗像さんの思いのこもったメッセージが添えられています。

また、今年は、宗像さんからサン・テグジュペリ作「星の王子さま」の本を紹介いただきました。世界中で読まれているこの物語の奥の深さ、そして読書の楽しさが児童にも伝わりました。

私は、去年も今年も本をいただけたことが、飛び上がりたいくらい嬉しいです。(中略)

去年いただいた本には、宗像さんからの手紙が入っていました。「お贈りする本にこの(オバマ大統領来日の際の)演説を添えるのは、読書によって道徳がわかるようになるからです。物語の展開や登場人物などを楽しむだけではありません。世界の政治のあり方から、人としての生き方までを支えている道徳について、たくさんのヒントを得ているのです。」という文が心にひびきました。この文から、本はとても役に立つことをあらためて知り、もっと本が大好きになりました。今年も宗像さんからのお手紙を読むのがとても楽しみです。

(代表児童のあいさつより)



植樹祭関連行事に参加 中郷小緑の少年団

来年の全国植樹祭までおよそ1年となり、緑の少年団が活躍する機会が増えてきました。

6月11日には、伊達市霊山町でプレイベントがあり、4年生以上の希望者が参加してきました。代表植樹では、本校で育てた6本の滝桜の苗が使われ、団長、副団長の児童が県知事さんらと共に植樹をしました。また、参加者全員が様々な種類の苗木の植樹を行うとともに、出展されたブースやステージイベントを見学して、緑化への理解を深めてきました。

また、6月19日には、三春町の花壇の完成セレモニーがあり6年生全員が代表で参加してきました。

緑を守ったり増やしたりすることや親しむことの大切さを学ぶと共に、代表としてどのように行動したらよいかということも参加を通して学習できており、貴重な経験になっています。

伊達市霊山子ども村にて



町自由民権広場にて



健康な生活のために

第1回学校保健委員会を開催 6月21日

今年度の健康診断の結果や過日行った生活チャレンジの結果をもとに、児童の健康と生活について意見交換をし、ご指導をいただきました。

今回は、生活の中でのゲームやテレビなどの時間が守れずに、読書の時間も少ないことが話題となりました。本校の結果ではゲーム等の時間と歯科検診の結果に相関があり、生活をよく見直すことが大切とのご指導をいただきました。また、そのためには、親が率先して声をかける、共に努力することが大切であることもご指導いただきました。

詳しくは、6月30日の授業参観の折に学年の委員の方から報告があります。ぜひとも生活チャレンジの結果に注目いただき、生活改善の参考にさせていただきたいと思います。



有森裕子さんからのメッセージ

6月11日に、第20回記念さくら湖マラソン大会が本校を会場に開催されました。本校からも20名をこえる児童が参加しました。記念大会のゲストとしてオリンピックメダリストの有森裕子さんを招いての開催でしたが、有森さんから本校児童のためにサイン色紙をいただきました。そこには「すべてを力に・・・」と記されています。

前日の講演会で、生まれた時の股関節脱臼の影響で歩いたり走ったりするのがあまり上手でなかったこと、小学校時代の先生との出会いで走るようになりそれがきっかけで高校でも陸上をするようになったこと、続けることがやがてメダルにつながったことなどをお話しされていました。

小さい時に走るのが得意でなかったとのお話は、出会いと努力によって人間の道は大きくかわることを伝えています。

「苦手なことも含めて全ての出会いを前向きにとらえて生かすことが大切だ」という信念が色紙に込められています。児童にもぜひ伝えていきたいと思います。



～色紙は本校玄関に掲示しております～